

平成 29 年 10 月 15 日

桜門体育学会平成 29 年度大会（第 8 回大会）のご案内

桜門体育学会事務局

ご挨拶

向寒の候、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会への期待が高まるなか、大会成功やスポーツ振興等に向けて、各方面から多様な取り組みが始まっています。そのようななかで迎える第 8 回桜門体育学会大会も、いくつかの新しい試みを行うこととなりました。特に大きなものは、これまで日本大学文理学部にて開催されてきた本学会大会を、日本大学商学部にて開催することです。本学、本学会がもつスケールメリットの機能をさらに発展させていくことがその目的にあります。

オープニングセッションでは磯貝浩久先生（九州工業大学）より、本学会がプロジェクト研究として取り組んでいる「大学生の社会的スキルに及ぼすスポーツ活動の効果」についてご発表いただきます。

また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会スポーツマネージャー（体操）としてご活躍されている遠藤幸一先生（日本大学商学部）から大会を成功させるために講じられている具体的な取り組みや課題についてご講演いただきます。さらには、東京オリンピック・パラリンピックを一つのきっかけとした今後の大学スポーツの在り方について、その価値向上の観点から高橋義雄先生（筑波大学）よりご講演いただきます。「大学におけるスポーツの役割」「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」「今後の大学スポーツの在り方」と、非常に興味深いキーワードが並ぶプログラムとなっております。専門とする先生方からそれらに関わる最新の情報をご提供いただける貴重な機会となります。

一般研究発表については、これまで実施してきたポスター発表の形式に加え、口頭発表形式を導入しました。発表者と大会参加者における多様な情報共有の場の展開、研究活動の促進につながればと思います。

最後になりますが、本大会が会員の皆さんの交流を深め、日本大学におけるスポーツ・体育に関わる教育・研究の発展に一致団結して邁進する契機になることを願っております。

第 8 回大会委員長 佐藤 佑介（日本大学商学部）

1. 大会概要

- 会 期： 平成 30 年 1 月 21 日（日）
平成 29 年 11 月 30 日（木）が一般発表抄録の受付期限です。
- 会 場： 日本大学商学部（世田谷区砧 5-2-1） <http://www.bus.nihon-u.ac.jp/>
小田急線「祖師ヶ谷大蔵」駅下車 徒歩約 12 分
「成城学園前」駅下車 徒歩約 18 分
※ バスを利用する場合：成城学園前駅乗車，日大商学部前下車
- 大会行事： オープニングセッション（プロジェクト研究発表），一般発表（口頭・ポスター），特別講演，トークセッション など
- 大会委員会： 日本大学商学部 佐藤研究室
住所：〒157-8570 東京都世田谷区砧 5-2-1
TEL・FAX：03-3749-6740

2. 参加申し込み

- 参加申し込みは「Web 登録」もしくは当日申し込みとなります。Web 登録の場合は、**11 月 30 日（木）までに**本学会のホームページ【<http://www.nu-taiiku.jp/society/>】上の「大会参加申し込み」フォーム，もしくは「3. 一般発表（口頭・ポスター発表）申込要領」に示される URL より手続きを行ってください。
- 口頭・ポスター発表を希望される方は，以下の「3. 一般発表（口頭・ポスター発表）申込要領」をご参照のうえ，発表申し込みを必ず行ってください。
- 大会プログラムと発表抄録集は，会員へ発送致します。
- 大会参加費は学会員，非会員共に 3,000 円です。大会参加費は大会当日に受付でお支払ってください。共同研究者であっても，大会に参加されない方は不要です。

3. 一般発表（口頭・ポスター発表）申込要領

- 口頭・ポスター発表申し込みは「Web 登録」のみとなります。**11 月 30 日（木）**までに，本学会のホームページ【<http://www.nu-taiiku.jp/society/>】上の「大会参加申し込み」フォームより手続きを行ってください。
- 発表申し込みの際には，希望発表区分を選択してください。
 1. ポスター発表（会員・準会員）
 2. 口頭発表（会員のみ）※ 大会運営の都合上，口頭発表の受け入れ数に制限がありますので，当該発表を申し込まれた方につきましては，会事務局により発表形式の変更をお願いすることもありますので，ご了承ください。受付結果については，申し込み締め切り後できるだけ早い時期に，Eメールでご連絡いたします。
- 口頭発表の申し込みについては会員のみとします。準会員（大学生）は，ポスター発表となります。
- 以下の要領に従って発表抄録を作成してください。
 1. 演題・氏名等：
 - ① 演題，氏名，所属について，それぞれ所定の欄にご入力ください。

- ② 準会員（大学生）は共同研究者として、指導教員名を必ず記載してください。
2. キーワード：2～5語程度，記入してください。
 3. 本文文字数：本文は500文字以内とします。

【「大会参加・発表申込みのフォーム」】

第8回桜門体育学会大会参加・発表申し込み：<https://goo.gl/forms/2fdDWcNd8RWwBaNe2>

4. 大会行事

■ オープニングセッション・プロジェクト研究発表（9:00～9:30）

「大学生の社会的スキルに及ぼすスポーツ活動の効果の研究概要（仮）」

発表者：磯貝 浩久 先生（九州工業大学）

概要：

現代社会において、他者とともに生活するうえで必要な能力の1つに社会的スキルがあります。そこで、多くの研究者がこのスキル獲得までの過程を解明すべく、多角的に研究を展開しています。その成果の1つが、社会的スキル獲得とスポーツ活動の関係性を浮き彫りにしたことです。本プロジェクト研究では、大学における様々なスポーツ活動（体育授業、部活動、サークル活動等）の継続が、大学生の社会的スキルの獲得に多大な影響を及ぼしていることを、メタ分析や大規模な横断調査、縦断的研究、さらには質的研究や介入研究によって実証することを目指しています。

本発表では、プロジェクト研究の概要や現在得られている調査結果、今後の課題などについて報告します。

■ ポスター発表（9:30～11:00）

- ・ 演題数にもよりますが、発表を研究領域毎にいくつかのブロックに分けます。
- ・ ポスター発表のプログラムは2セッション（前半：9:30～10:10、後半：10:20～11:00）に分けて行います。各発表者は、割り当てられたセッションにおいてポスター発表を行ってください。その際、各発表者は質疑応答を行えるよう、必ずポスターの前にお立ち下さい。
- ・ 発表者はご自身のセッションの5分前にポスターを掲示してください。
- ・ 割り当てられたセッション後、発表者は速やかにポスターを撤収してください。
- ・ ポスターの大きさはA1サイズ（横594×縦841ミリ）で作成してください。ポスター例を、本学会のホームページよりダウンロードすることが可能です。
- ・ 演題、発表者、共同発表者、所属を明示してください。
- ・ 所属については以下の通り記載してください。
 - i. 大学生：学部学科まで記載してください。
 - ii. 大学院生：専攻まで記載してください。
 - iii. 大学教員：学部名まで記載してください。
 - iv. i～iiiに該当しない方：会社名や学校名を記載してください。

■ 口頭発表（11:10～12:30）

- ・ パソコンのOSはWindows10です。PowerPoint2016が利用できます。プロジェク

ターへの入力端子は Dsub です。Mac をご利用の場合は、プロジェクターへの入力端子はご自身でご用意ください。

・ 発表時間は各発表者 20 分（発表 15 分、質疑応答 5 分）です。

■ 特別講演 (1) (13:40~14:40)

「2020 年の東京オリンピック・パラリンピックは日本に何をもたらすのか (仮)」

講師：遠藤 幸一 先生（日本大学商学部，東京オリンピック・パラリンピック
競技大会組織委員会スポーツマネージャー（体操））

概要：

1964 年と 2020 年の日本の状況は、様々な面で大きく変化しました。1964 年大会を契機に日本は大きな経済成長を遂げたことはその歴史が物語っていますが、果たして 2020 年大会は大会後の日本の将来に何をもたらすのでしょうか？現在、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会において、準備を進める一人（体操のスポーツマネージャー）として活動していますが、オリンピックを心待ちにしている方々の期待に応えられるのか、実に多くの不安や問題に出会います。

本講演では、一人の組織委員として私自身が抱える不安や問題の中から、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催意義を振り返ってみたいと思います。

■ 特別講演 (2) (14:55~15:55)

「今後の大学スポーツの在り方について (仮)」

講師：高橋 義雄 先生（筑波大学）

概要：

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、日本社会とスポーツを取り巻く環境にさまざまな変容が起きようとしています。そのための取り組みは、国際規模に広がるものから、地域に根差したものまで多岐にわたります。「大学スポーツ」に関わる取り組みも、それらの具体例です。大学、学生、地域など、広く社会に肯定的な効果をもたらすことを期待し、そのような取り組みは展開されていきます。その根幹には「学生ファースト」があることはいまでもありません。学生アスリートの単位の取得やキャリアデザイン（デュアルキャリア）に寄与する可能性をも秘めています。

本講演では、今後の大学スポーツの在り方について、その背景や課題などについて紹介しながら解説していきます。

■ トークセッション (15:55~16:20)

スピーカー：遠藤 幸一 先生

高橋 義雄 先生

司 会：水上 博司 先生

■ 総会 (16:30~17:00)

■ 懇親会 (17:10~18:40)

会場：3 号館「アゼリア」

会費：3,000 円（学生 1,000 円）（会費は当日に徴収致します）

以 上